

インド国ベンガル湾岸湿地 (バフダ入江およびルシクリヤ河口) における環境保全型クラブバンクの推進とプラスチックフリーエリアの開発

活動地域  インド

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

ワタリガニ卵放流
推計数 **156,000,000匹**

ごみ収集 **500kg**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **40%**



他地域からクラブバンクが視察された様子

活動内容と成果

- ①ルシクリヤ河口にクラブバンクを設置し、推計1億5600万匹のワタリガニ卵をベンガル湾に放流
- ②ルシクリヤ河口でマングローブ (2万530本) や一般植樹 (2万505本) 植林による緑化面積増加
- ③バフダ入江で住民グループを結成し、清掃活動を実施、計500kgのごみを収集
- ④壁絵10枚、参加型エコゲーム、ニュースレター (計2巻4,000部)、クラブバンクのリーフレット (3,000部)、マングローブ保全のブックレット (3,000部)、環境エッセイや絵画コンテスト等を通じての環境普及啓発



プラスチックフリーエリアでの活動の様子

課題

対象湿地でみられる乱獲やごみ投棄、気候変動による海洋生物への影響と生活困窮が危惧されている。住民の環境意識は乏しく、地域社会の環境適応・回避能力は脆弱である。

目標

ベンガル湾岸湿地の自然環境を再生し、そこで生活する人々が湿地を賢明に利用するために、環境保全型クラブバンク (カニの肥育施設) の導入とプラスチックフリーエリアを創出する。



今後の展望

各活動で得た教訓をもとに、次年度にバフダ入江とルシクリヤ河口の別地域で水平展開し、環境保全型クラブバンク及びプラスチックフリーエリアのモデル地として確立することを目指す。

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

異なる文化・言語 (オディヤとテルグ) を背景に、住民同士や住民と外部機関との意思疎通が難しい状況であった。

■ 工夫した点

湿地の賢明な利用を促進するために住民参加型の活動を多く取り入れるとともに、政府の支援も呼びかけ環境活動を活性化させた。

502/2 Mallick Complex,
P.O.-Khandagiri,
Bhubaneswar-751030,
Dist-Khurda, Odisha, India
HP : <http://www.pallishree.org/>

